

地域医療構想と 地域包括ケアシステムの 到達点と課題



9月29日(日) 13:30~17:00 全社協・灘尾ホール

会場&WEB
同時開催
入場無料

座長

田中 滋

公立大学法人埼玉県立大学理事長/慶應義塾大学名誉教授

パネリスト

鈴木 亘

学習院大学経済学部教授

三原 岳

ニッセイ基礎研究所上席研究員

筒井 孝子

公立大学法人埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科・研究開発センター教授

松田 晋哉

福岡国際医療福祉大学看護学部教授

来賓

森 真弘

厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官

地域医療構想と地域包括ケアシステムの到達点と課題

開催趣旨

中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据えながら、都道府県の病床の機能分化と連携を進めるため、2015年、厚労省より「地域医療構想」のガイドラインが发出され、それをもとに地域ごとの医療需要に合わせた病床数を定め、2025年をゴールとする取り組みが進められてきた。一方、それより早く各市町村では、地域の医療介護福祉そして生活支援の切れ目ない連携体制を構築し、高齢者など何らかの助けがあれば住み慣れた地域で生活を継続できる人たちを支えることを目的として、「地域包括ケアシステム」が2014年に法定化され、整備が進められてきた。途中、新型コロナウイルスのパンデミックがあるなど、予定外の障害もあり、両者とも当初の想定どおりに進められたとは言い難いところも存在する。とはいえ、各地の地域包括ケアシステム進展は目覚ましい。また昨年、今後の高齢者人口がピークを迎

える2040年代初めとその先を見据えて、「新たな地域医療構想」が発表されている。こうした新しい体制を成功させるためには、過去の政策や実践活動に関する公正な評価が必要と考える。

本シンポジウムでは、「地域医療構想」と「地域包括ケアシステム」のこれまでの振り返り、国の政策や自治体および関係者の取り組みの妥当性を含め、どこまで進化してきたのか、課題が緩和できたのか、何が新たな課題として出現したのかについて議論し、今後の地域包括ケアシステムと医療構想を考える確固たる基盤の提供を企図する。

シンポジウム座長
公立大学法人埼玉県立大学理事長
慶應義塾大学名誉教授
田中 滋

タイム
テーブル

13:00 開場

13:30 開会挨拶 医療科学研究所理事長 三村 将

13:35 来賓挨拶

13:45 座長基調講演

14:05 パネリスト講演(各20分程度)

15:25 休憩

15:40 パネルディスカッション 座長+パネリスト4名

17:00 閉会挨拶 医療科学研究所専務理事 松江 裕二

本シンポジウムは、**会場開催**(全社協・灘尾ホール)とオンラインシステムを使用した**Web配信**で同時開催いたします。多くの皆様がご参加いただけるよう、**開催当日まで参加申し込みを受け付けます。**



参加申込方法(要予約)

参加無料

会場参加およびWeb参加のどちらかをご選択ください。いずれも下記ホームページから参加をお申込みください。

ホームページ <http://www.iken.org/>



01 会場参加(全社協・灘尾ホール)

会場参加用フォームよりお申し込み後、電子メールにて登録票を送付いたします。登録票は、シンポジウム当日に受付へご提示ください。当日シンポジウム会場で講演資料を配付いたします。

会場参加には事前のお申し込みが必要です。

02 Web参加

Web参加用URLよりお申し込み後、ご登録いただいたメールアドレスにシンポジウム視聴用のURLを送付いたします。シンポジウム当日、同URLよりご参加ください。

※会場参加、Web参加とも、お申込みいただいた個人情報は適切に管理し、登録票の発送と運営事務局からのご連絡以外の目的では使用いたしません。

お問い合わせ先

公益財団法人 医療科学研究所
TEL: 03-5563-1791 E-mail: jimujimu@iken.org

開催日時

2025年9月29日(月) 13:30~17:00

開催会場

全社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビルLB階
TEL: 03-3580-0988

- ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口、5・6番出口より徒歩5分
- ▶ 地下鉄千代田線／丸ノ内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩7～8分
- ▶ 地下鉄千代田線／丸ノ内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

会場MAP

